

令和8年度 東京都立白鷗高等学校附属中学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校等で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題を解決するために必要な、分析力、考察する力をみる。
- (3) 身近な事象の中から課題を発見し、それを解決するための方法を考えることを通して、その考えが適切であるかを判断し、自分の意見を適切に表現する力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ及び適性検査Ⅲを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針
文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を1問とし、小問3問で構成する。
 - ・ 文章を読み、読み取った内容をまとめたり説明したりする力をみる。
 - ・ 与えられた課題について、読み取ったことを踏まえて自分の考えを400字以上440字以内でまとめ、文章で表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問6問で構成する。
 - ・ 日常の事象を題材とし、図形の性質や数量の関係について思考・判断する力、言葉や数・式などを用いて論理的に考える力、問題解決の過程や結果を数理的に考察・処理する力をみる。
 - ・ 日本茶を題材とし、資料を多面的・多角的に捉え、資料相互の関連性を分析・処理し、考えたことや選択・判断したことを表現する力をみる。
 - ・ ものが着地することを題材とし、実験の結果を基に考察する力、的確に表現する力をみる。

適性検査Ⅲ（45分）

- (1) 出題の方針
身近な事象における課題に対して科学的・数理的な分析を行い、総合的に考察し、判断・解決する力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を2問とし、小問6問で構成する。
 - ・ 地域の校外学習を題材として、与えられた文章や資料から情報を適切に読み取り、数理的な処理を基に思考・判断・表現する力をみる。
 - ・ 空気の汚れ具合を題材として、与えられた文章や資料から情報を適切に読み取り、思考したことを基に判断し、自分の考えを適切に表現する力、課題を解決する力をみる。